

先進地へ視察研修に行ってきました！

JA各務原にんじん選果場見学

(各務原市)
各務原にんじんは全国でも珍しい2期作を実施しています。
各務原市の特徴として、火山灰を元にした肥沃で水はけと水持ちが良い土壌である黒木土で、黒木土で育ったにんじんは糖度が高く色が濃いそうです。視察研修では各務原にんじんの洗浄・選別・梱包まで一貫工程で実施している選果場の見学を実施しました。にんじん選別はカメラで実施されていたり、箱詰めも機械で実施されていたりと全体的に省力化が進められている印象でした。にんじん選果は個人で実施しようとすると非常に時間がかかるため、にんじん選果場を利用される方が多いと伺いました。



ブランド米「龍の瞳」講演会



(下呂市 (株)龍の瞳本社)
ブランド米「龍の瞳」とは品種:「いのちの壺」の商品名です。米粒がコシヒカリの約1.5倍であり、甘味・香り・歯ごたえがよく、冷めても美味なブランド米です。ブランド米として確固たる地位を築いています。1,670円/kgで現在販売されており、購入者多数の状況です。

ブランド確立のために各コンクールで金賞や最優秀賞を受賞し、メディアにも取り上げられるよう地元誌に売り込みをかけたことと伺いました。加えて、様々なセミナーに出演、本の出版などメディアに取り上げられやすい試みも実施されていました。

SDGsから考える地域づくり/下呂市農業委員会

(下呂市 旧東第一小学校)
下呂市金山町東地区集落支援員の鈴木亘様の講義では、1つの市を人口・環境・経済・暮らしの面から行政や民間事業者がどのような事業を実施して成長させるのか、議論を行いました。

講師からは持続可能な地域社会を維持するためには市が成長する上で人口・環境・経済・暮らしのどの要素が欠けてもいけないということをご教示いただきました。

下呂市金山町では、地域住民と定期的にワークショップを開き、SDGsの考え方を浸透させているとのことでした。

今回の研修場所である旧東第一小学校は廃校になっていますが、研修所として下呂市が無償で貸出しており、実際にSDGsに関する事業も実施されていました。





下呂市では令和5年6月時点で人口が約3万人で、人口減少が進んでいます。農業を担う者についても減少することを防ぐ為に、新規就農者の積極的な受け入れを実施していると伺いました。新規就農者は全て夏秋トマト農家であり、下呂市としても初期投資が少ないかつ、栽培管理が簡単な夏秋トマトを勧めているとのことです。

新規就農者への具体的な支援策としては格安家賃の研修生専用住宅の提供や、販路確保に関するサポート、農閑期のアルバイトのあっせんなどを手がけているとのことでした。



農地パトロールを行いました

農業委員会では、毎年8月～10月にかけて農地パトロールを実施しています。

市内の農振農用地を中心に、違反転用や遊休農地の調査をしています。該当農地には、所有者に対して指導文書を送付すると共に聞き取り等を行い、改善に向けての指導を行っています。

農家の皆様におかれましては、適切な農地管理をお願いします。

令和6年度 要指導農地面積(m ²)	
新川・西端地区	25,437
旭 地区	17,194
大浜・棚尾地区	28,552
合計	71,183



令和7年度 要指導農地面積(m ²)	
新川・西端地区	28,616
旭 地区	27,325
大浜・棚尾地区	23,911
合計	79,852

農業者年金に加入しましょう

- ・農業者の方が広く加入できます。
- ・積立方式のため、自分がかけた金額は年金として生涯もらえます。
- ※仮に80歳未満で亡くなられた場合は、死亡一時金が遺族に支給されます。
- ・一定の要件を満たす方は、保険料の国庫補助が受けられます。
- ・支払った保険料は全額社会保険料控除となり、所得税や住民税等の節税になります。



**詳しいことを知りたい方、加入に興味がある方は
農業委員会(95-9898)までご連絡ください**

愛知県表彰条例による表彰

当市農業委員会で会長職も務められた小澤隆氏が、農業委員としての長年にわたる農業振興の功績が認められ、産業功労者として愛知県表彰条例による第77回表彰を受けられました。表彰状は11月17日に愛知県庁で伝達されました。



フレッシュ新規就農者



令和6年度及び令和7年度に新規就農された方にインタビューを行いました。(R6: 枠線赤 R7: 枠線青) 皆様の今後のご活躍を期待しています。地域の皆様、応援よろしくお願いいたします。

- 【質問】
- ① 主な作物は？
 - ② 趣味や興味のあることは？
 - ③ 農業について感じることは？
 - ④ 将来の夢は？
 - ⑤ 地域の皆さんへ一言！

すずき まさあき
鈴木 将晃
【旭地区】



- ① いちご
- ② 飲み歩き、旅行、猫
- ③ 自分が育てたもので喜んでもらえることにやりがいを感じる
- ④ 地域に必要とされる農家
- ⑤ 詳しくは、Instagram「碧の実り村」で検索ください。

たかはし ことね
高橋 琴音
【旭地区】



- ① 多肉植物
- ② ランニング
- ③ 生き物を扱うのは難しいけど楽しい
- ④ 家族全員で幸せに暮らすこと
- ⑤ 精一杯頑張ります。

たかはし ゆうた
高橋 雄太
【旭地区】



- ① 多肉植物
- ② 読書
- ③ 暑いな～
- ④ 父のような農業経営をすること
- ⑤ よろしくお祈りします。

やまだ じゅんいち
山田 潤一
【旭地区】



- ① きゅうり
- ② ゲーム
- ③ 社会に必要な不可欠な仕事
- ④ 早く一人前になること
- ⑤ ハウス胡瓜の出荷は11月から。ぜひ食べてみてください。

かとう ゆうき
加藤 佑騎
【大浜地区】



- ① クルクマ
- ② PCゲーム
- ③ 数年先を見越す必要がある、難しい仕事だと感じています。
- ④ 安定した経営ができるようになること
- ⑤ よろしくお祈りします！

かとう ゆうし
加藤 優志
【大浜地区】



- ① 人参、玉ねぎ、クルクマ
- ② 読書が趣味で司馬遼太郎の本をよく読みます。
- ③ 「農業は毎年一年生」という格言をよく聞きます。それが何を訓示しているのか自分なりに考えてみたんですが、それは周期性はあっても、再現性はない気候というものに、常に一年生の気持ちで学び直し、敢然と立ち向かう姿勢を教示しているのだと解釈しました。そこが農業の難しさであり、やり甲斐でもあり、戒めだと思います。
- ④ アボカドの栽培
- ⑤ ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお祈りします。

すぎうら としひこ
杉浦 寿彦
【棚尾地区】



- ① リーフレタス
- ② 芸人さんのラジオを聴くこと
- ③ 国内食料自給率確保のために国はもっと力を入れるべき
- ④ 得意な作物を見つけて極めたい
- ⑤ 美味しい地元作物は沢山あるので、ぜひ買って食べてください。

すみや ゆうや
角谷 侑哉
【大浜地区】



- ① 人参、玉ねぎ、とうもろこし
- ② 旅行
- ③ 休みが少なく大変な仕事ですが、やった分だけ自分へ還元できる仕事
- ④ 祖父や父が地域で名の知られた人物であるため、2人に負けない人になりたい
- ⑤ まだまだ足りない部分が多いですが、これからどうぞよろしくお願いいたします。

みしま そうた
三島 颯太
【棚尾地区】



- ① 人参、玉ねぎ
- ② 旅行、カラオケ
- ③ 農業の担い手不足が問題となっている中で、自分に何ができるのかを考えていきたい
- ④ 碧南の野菜を全国に拡げる
- ⑤ 毎日寒い日が続いて大変だと思いますが、へきなん美人で鍋やシチューを食べて温まりましょう。

農地銀行制度の廃止について

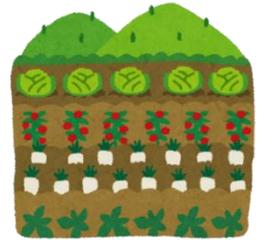
これまで碧南市で行ってきた農地銀行制度(農地の貸借及び売買のマッチング)は農業経営基盤強化促進法の改正に伴い、終了いたしました。

農地の流動化を推進するため、今後は農地の貸借及び売買を希望する農地の情報を下記HPにて掲載いたします。農地の借り手や買い手を探されている地権者の方は、碧南市農業委員会まで申出をお願いします。

※農地銀行制度の際に申出いただいていた方も、制度が変更となるため、お手数料をお掛けしますが、再度申出をお願いいたします。

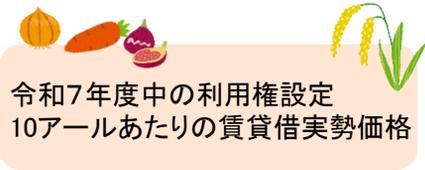
農地の売買については農地移動適正化あっせん基準に基づき、農地のあっせん事業を実施することで譲渡所得の控除が受けられる場合があります。農地の譲渡のあっせんを希望される場合は、農地売渡あっせん申出書を、農地の譲受を希望される場合は、あっせん譲受等候補者名簿登録願出書を碧南市農業委員会までご提出ください。申出の様式及び事業の詳細については、碧南市ホームページでご確認ください。

【HP】https://www.city.hekinan.lg.jp/soshiki/keizai_kankyo/nogyo_suisan/1/23412.html



詳しいことを知りたい方、申出を希望される方は碧南市農業委員会(95-9898)までご連絡ください

賃借料情報



令和7年度中の利用権設定
10アールあたりの賃貸借実勢価格

農業委員会では農地の賃借料情報の提供をしています。
今年度の状況は下記のとおりです。農地の賃借価格の参考にしてください。

農地	最低価格	最高価格	平均額	件数
田	25,000円	25,000円	25,000円	365件
畑	14,000円	26,000円	20,000円	333件

※平均額は、1 0 0 円単位で四捨五入。使用貸借やハウス等、平均額と大きくかけ離れた値は除いて計算。

※令和7年度の間管理機構の定める額は10 aあたり2 5, 0 0 0 円でした。

編集後記



令和6年に始まった「令和の米騒動」から端を発し、現在も米は以前よりも高価格で販売しているが、今の価格が高いのか、安いのか、意見が分かれている。それは消費者が生産の現状を知らないからではないだろうか。コンバインが2,000万円もするというから、全ての機械投資をして、採算を合わせるにはどれだけの面積を作付けしなければならないか。生産者がもっと消費者に生産の現状を発信し、理解を得ることが今大事なことだと思う。

今号から、いち早く情報を届けようと、新規就農者の紹介が2年分となった。彼らが夢を持って農業を続けられるような環境づくりに私たちも一役買いたいと思う。(金原)

第17回編集委員会

永坂邦男(委員長)

石川清勝(新川)

近藤正孝(大浜)

永井是充(棚尾)

金原節子(旭)

新美康弘(西端)